

小野町における 森林環境交付金事業の 実施について

小野町農林振興課
主任主査 清野昭雄

小野町について

阿武隈山系の中部、田村郡の南部に位置し、町の中央を太平洋に注ぐ右支夏井川が流れ、これに沿って平坦地を形づくっています。
標高は市街地で400メートル。まわりを阿武隈高原中部県立自然公園に囲まれています。

- ・人口10,566人
(平成25年6月1日現在)
- ・町の総面積 12,511ha
森林面積 8,686ha
民有林面積 7,732ha
(うち人工林4,328ha)



森林環境基金事業の実施 についての考え方

森林環境の保全と町民全体で森林を守り育てる意識の醸成を図ることを目的に事業を実施する。

- ◎県民参画の推進事業
- ◎森林環境学習の推進事業
- ◎森林整備の推進事業

県民参画の推進について(木工教室)

- ◎間伐材を利用した木工作業の体験を通して親と子のふれあい、また森林環境への意識向上を図ることを目的とした。
- ◎参加者を多く集めるためには？
町主催のイベントと一緒に開催することで参加者の確保と基金事業のPR活動を実施。
- ◎「親子木工教室」と併せて「きのこの植菌体験」も実施した。※原発事故以後は、菌床の栽培キットを配布。

2012小町ふれあいフェスタの様子



各種イベントの開催

2012小町ふれあいフェスタの様子



お客さんで賑わうイベント広場

親子木工教室の様子



親子がちからを合わせての作業

親子木工教室の様子



指導にあたる建築家具組合のみなさん

県民参画の推進について (チェーンソーアート)

- ◎チェーンソーアートを通じて林業の活性化また、間伐材の有効利用を図ること目的として開催しました。
- ◎親子木工教室と同じく「小町ふれあいフェスタ」と一緒に開催しました。

チェーンソーアート実演の様子



チェーンソーアーティスト西間健さんによる実演

チェーンソーアートで完成した作品は、小野町町民体育館ロビーに展示し、利用者の目を楽しませています。



利用者の憩いの場となっている

県民参画の推進事業の感想

- ◎「釘と金づちを使ったのが初めてだったが楽しかった。」
- ◎「クギを最後に打とうとしたら、曲がってしまったが、うまくできた。」
- ◎「チェーンソーのみで、作品を作っていくのがすごいと思う。」
- ◎「自分も機会があればやってみたい。」

などたくさんの感想をいただきました。

県民参画の推進事業の効果

- ◎木工教室を通して親子がふれあうことができた。また、制作活動を通して、木の持つ温かさを感じるとともに、身近な自然に愛着を持つことができた。
- ◎森林の恵み・森林の必要性を身近に感じることができた。
- ◎林業の活性化・間伐材の有効活用を考える機会になった。

学校での取り組み(森林環境学習)

町内4小学校、2中学校が森林環境学習を実施している。

総合学習の時間を利用して各学校の特色を活かした森林環境学習や地元出身の方を講師に迎え、自然観察などの活動を展開してきた。

小野新町小学校の活動内容

(実施内容)

- ◎学校周辺の樹木等の植生観察について学習をした。
- ◎森林が持つ生態系の意味と役割について学習をした。
- ◎地球環境の現状と自然観察の保護について学習をした。

小野新町小学校の活動様子



学校周辺の樹木の観察

夏井第一小学校の活動内容

(実施内容)

- ◎森林環境学習に係る講師の方の指導により、児童が間伐材を利用した木工作業を体験することで、森林環境の意識を高めることができた。

夏井第一小学校の活動様子



間伐材を利用した木工教室

飯豊小学校の活動内容

(実施内容)

- ◎飯豊森の森林や学校周辺の野原・林を観察し季節による樹木の変化について学習した。
- ◎校地内の樹木名を調べ、樹名板を製作して取り付ける活動を通して、地域に生息する樹木について学習した。

飯豊小学校の活動様子



樹名板取り付け作業

浮金小学校の活動内容

(実施内容)

- ◎総合的な学習時間に「阿武隈山系の樹木」と題してもりの案内人を講師として招き講話を実施し、落葉広葉樹の種類と特徴を学習した。
- ◎木の実を使った木工クラフトを実施した。

浮金小学校の活動様子



木の実を使った木工クラフト作業

小野中学校の活動内容

(実施内容)

- ◎1年生の技術の木材加工の学習において、木材の組織や構造を含め森林について学習した。

小野中学校の活動様子



技術の授業における森林環境学習

浮金中学校の活動内容

(実施内容)

- ◎ふるさとの豊かな自然やその良さに気づくことにより、郷土愛を育成した。
- ◎森林環境における生物同士のつながりを学習した。
- ◎土壌生物を観察し、土壌生物が果たす役割を学習した。

浮金中学校の活動様子



野外学習での自然観察

各小・中学校の感想

(実施内容)

- ◎子どもたちが体験を通して、森林環境の大切さを学習できて良かった。
- ◎県職員の方から森林環境について講話を頂いてから、木工作業を行いました。森林環境や間伐材の利用について理解を深めながら実施できました。
- ◎学校周辺の森林を観察し、また樹名板を取り付けたり、総合的に学習ができ良かった。

森林環境学習の効果

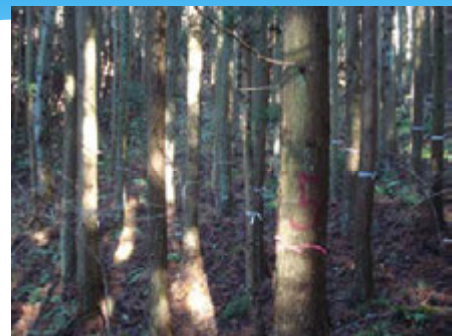
- ◎子どもたちは自然は大切と言葉では知っているが、体験を通じて自然の大切さを知る機会が少なくなっている。そこで、森林環境教育の場などで肌で感じてもらい、体験を通じた教育ができた。

森林整備の推進(町有林)

(実施内容)

- ◎森林の公的機能の保全及び将来的に住民参画の森林環境学習やレクリエーションの場として活用できるように間伐を実施した。
- 場所:小野町大字小野新町地内
数量:6.00ha(間伐率30%以上)

森林整備の推進(町有林)



間伐前

森林整備の推進(町有林)



間伐後

森林整備の推進(町有林)



森林環境交付金事業のPR看板

平成25年度森林環境交付金事業 (重点枠)の紹介

(県産材の利活用推進)

- ◎「緑とふれあいの森公園 森の体育館」の改修事業。
- ◎「森の体育館」の床、手すりの改修工事及びデッキ固定式ベンチをテラスへ設置することにより利便性の向上を図る。

平成25年度森林環境交付金事業 (重点枠)の紹介

(木質バイオマスの利活用推進)

- ◎緑とふれあいの森公園 管理棟内の多目的ホールにペレットストーブ2台を設置。
- ◎小野町役場出納室窓口にペレットストーブ1台を設置。

課題・今後の展開について

(県民参画の推進)

- ◎森林環境基金事業の啓発の場として、今後も大勢の人出が見込めるイベントとの連携の強化図っていききたい。
- ◎チェンソーアートのPRはできたので、今後は、教室や大会等を展開していききたい。

課題・今後の展開について

(森林環境学習)

- ◎町内の各小学校にて実施しているが、今後は、幼稚園・保育園等にも森林環境学習を展開していききたい。
- ◎学校の先生を対象に森林教育の知識を深めてもらうための研修会の検討。

(森林整備の推進)

- ◎森林整備をした、間伐材の有効活用の検討。

課題・今後の展開について

福島県から交付される森林環境交付金を有効に活用し、森林の機能や役割など広く学習の場を提供し、豊かな環境を子どもたちに引き継ぐため森林環境学習をはじめ様々な事業を今後も実施していきます。

ご清聴ありがとうございました

